

平成26年度 貝毒プランクトン出現状況(8月8日現在)

男鹿半島戸賀湾で、貝毒の原因とされるプランクトン(渦鞭毛藻類 *Dinophysis*属)の出現状況を調査しています。

8月8日の調査では、*D. fortii*がわずかに出現し、その他の*Dinophysis*属もわずかに出現しました。

7月31日に県水産漁港課が行った下痢性貝毒検査では、出荷自主規制値(0.05MU/g以上)を超える貝毒は検出されませんでした。

貝毒原因プランクトン出現状況調査は、本年度は今回が最後となります。今後とも貝毒の状況には注意してください。

調査 月日	水深	水温 (°C)	貝毒プランクトン出現量 (細胞数/L)			イガイの下痢性貝毒検査結果* (*県水産漁港課調べ)		
			<i>Dinophysis fortii</i>	<i>Dinophysis acuminata</i>	<i>Dinophysis</i> 属 その他	採捕 月日	毒性値 (MU/g)	備考
① 4/9	5m	9.5	18	0	9			
	10m	9.5	54	0	9			
	20m	9.5	24	0	0			
② 4/22	5m	10.2	240	0	0			
	10m	9.9	54	0	0			
	20m	9.5	0	0	0			
③ 4/30	5m	12.4	242	0	11			
	10m	12.2	234	36	0			
	20m	9.7	152	0	0			
④ 5/8	5m	13.6	50	0	0			
	10m	13.2	110	0	0			
	20m	12.6	126	0	0			
⑤ 5/15	5m	14.7	0	0	0			
	10m	14.3	0	0	0	6/3	<0.05	
	20m	14.1	0	0	0			
⑥ 5/27	5m	15.4	0	0	0			
	10m	15.2	10	10	0	6/11	<0.05	
	20m	14.5	0	0	0			
⑦ 6/3	5m	19.1	0	22	0			
	10m	17.8	20	10	0	6/18	<0.05	
	20m	14.6	36	24	36			
⑧ 6/10	5m	18.6	0	10	10			
	10m	18.0	0	54	18	6/25	<0.05	
	20m	17.7	10	10	10			
⑨ 6/17	5m	18.0	0	0	10			
	10m	17.8	0	0	0	7/3	<0.05	
	20m	17.7	0	0	10			
⑩ 7/1	5m	21.3	0	0	0			
	10m	20.6	0	0	0	7/13	<0.05	
	20m	17.7	0	0	0			
⑪ 7/18	5m	24.0	0	10	50			
	10m	23.5	0	10	110	7/17	<0.05	
	20m	21.1	0	0	0			
⑫ 7/29	5m	25.7	10	10	240			
	10m	24.4	0	50	70	7/24	<0.05	
	20m	23.3	0	10	30			
⑬ 8/8	5m	25.0	10	30	20			
	10m	24.2	0	10	10	7/31	<0.05	
	20m	22.9	0	0	0			

なお、警戒値は*Dinophysis fortii*については200細胞/L(海水1リットルあたり200細胞)以上とされています(安本1993)。